

新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
このたび、下記の検査項目を新たに受託開始いたしますので、
ご利用いただきたくご案内いたします。
弊社におきましては、皆様のご要望に幅広くお応えすべく研鑽
を重ねてまいりますので、今後とも引き続きお引き立てのほど、
よろしくお願い申し上げます。

敬 白

記

■ 実施日 平成 27 年 8 月 17 日 (月) ご依頼分より

■新規項目内容一覧

項目コード ナピラボコード (統一コード)	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値 (単位)	備 考
6532 1 00391A206 9 (4A070)	抗利尿ホルモン (AVP)	血漿 1.5	PN7 (A) ↓ A00 (X)	凍結	5~7	235 ※4	RIA2 抗体法	水制限 4.0 以下 自由飲水 2.8 以下 (pg/mL)	<input checked="" type="checkbox"/> 採血後、速やかに血漿 分離してください。 溶血でのご依頼は避 けてください。

※4：生化学的検査（Ⅱ）判断料

●今回の新規項目受託開始に伴い、下記項目の受託を中止させていただく予定です。

項目コード	項目名	受託中止予定日
6492 0	抗利尿ホルモン(ADH) (AVP)	平成 27 年 9 月 18 日ご依頼分をもって受託中止

●抗利尿ホルモン（AVP）

中枢性尿崩症や ADH 不適切分泌症候群の診断補助に有用です。

抗利尿ホルモン（antidiuretic hormone：ADH）はアルギニンバソプレシン（Arginine vasopressin：AVP）ともいわれ、視床下部で合成され下垂体後葉に蓄えられる下垂体後葉ホルモンです。

従来法では、中枢性尿崩症の治療薬デスマプレシン投与中の患者検体では高値になることが報告されておりましたが、本試薬ではデスマプレシンとの交差性が低い抗体を使用することにより、特異性が高まることが期待されています。

▼疾患との関連

中枢性尿崩症、ADH 不適切分泌症候群

▼ 関連する主な検査項目

浸透圧（血清・尿）、Na（ナトリウム）

▼検査要項

検査項目名	抗利尿ホルモン（AVP）
項目コードNo. ナピラボコード （統一コード）	6532 1 00391A206 9 （4A070）
検体量	血漿 1.5 mL
容器	PN7(A) (EDTA-2Na 入り) → A00(X) (ポリスピッツ)
保存方法	必ず凍結保存して下さい
所要日数	5～7 日
検査方法	RIA2 抗体法
実施料	235 点（「D008」内分泌学的検査の 38）
判断料	144 点（生化学的検査(Ⅱ)判断料）
備考	採血後、速やかに血漿分離してください。 溶血でのご依頼は避けてください。

●参考文献

田中誠仁, 他：医学と薬学 72 (8)：1379～1388, 2015. (検査方法参考文献)
村瀬孝司, 大磯ユタカ：日本臨床 68 (増刊 7)：260～263, 2010.